



「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」の戦略

何一つ買うつもりもないのに、両手に抱えきれないほどの買い物をしてしまったという経験は、今までありませんか。そこには、客の購買意欲を高める企業の戦略があるのです。購買の心理学や購買学といわれるものです。その例を紹介します。

私たちの味覚や嗅覚、触覚などの感覚は、行動に大きな役割を果たしています。その中で嗅覚は最重要で、本能的反応が瞬時に起こるのです。このおかげで、ほとんどのスーパーは、お店の入口に最も近い場所にパン屋さんを配置しています。パンやドーナッツを焼くほのかな香りは、空腹感を感じさせ、多くの商品を購入させることにつながっているのです。

また、日本の有名な百貨店では、1日の時間帯に合わせて、空気中に異なった香りを放出しています。1日の早い時間帯には、買い物客を活気づけるために、刺激的な香りが放出され、1日の遅い時間は、落ち着かせる香りを放出しています。全ての消費者にできるだけたくさんの時間を、そして、できるだけお金を使う気になってもらうことを目標にしているのです。

世界的に有名な服を売っている店では、店の入口に山のように積まれた服がおいてあるテーブルがあります。客が手で触られように展示しているのです。客が服を手で触ることにより、客の触覚が刺激され、さらなる購買意欲が増すことをねらっているのです。

色覚もあります。例えば、ファーストフード店の看板や店内は、赤色を基調にしていることが多いですが、これは、赤色が最も食欲を促進する色だからです。反対に、満腹時に嫌悪を感じるのも赤色です。だから、食事を終えた客は、赤色の店内に居心地の悪さを感じてすぐに帰ってしまうのです。つまり、客の回転が速くなるのです。

このように、味覚や嗅覚、触覚、視覚といった感覚は、人間の行動を無意識のうちに決定してしまう力があるのです。買ってしまおう人が貪欲なのではなく、企業が巧妙なマーケティング戦略で一番基本的な衝動を利用しているだけなのです。

さて、長々述べましたが本題に入ります。県教育委員会は、子どもの学力向上には家庭における学習が欠かせないとして「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」を作成しました(1月11日に全家庭に配布しています)。学校・家庭・地域が手をとり合って子どもたち一人一人の力を伸ばそうとする戦略です。

子どもたちの「自己マネジメント力」を育むために、家庭や地域ができる関わり方の参考例として「心の支え」「環境づくり」「習慣づくり」の3点が具体的に述べられています。ぜひ実践してみてください。

「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」を基に、子どもが、自ら学習に取り組もうとする意欲を高めることができれば、学力も確実に身に付いてくるはずですよ。

どうか「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」を手元に、今しかできない大切なことに本腰を入れてみませんか。子どもの力を伸ばす、学校・家庭・地域の戦略です！

(引用・参考文献 東京書籍 Prominence Communication English III Unit 4 Business、「受験脳の作り方」池谷裕二著 新潮文庫)



鼓笛引継ぎオリエンテーション

17日(水)4～6年生全員が多目的室に集まり、鼓笛引継ぎオリエンテーションが行われました。2月28日(水)に行われる「6年生を送る会」の中で「鼓笛引継ぎ式」が行われます。そこで4～5年生が鼓笛の演奏を披露します。当日に間に合うようにと6年生が4～5年生に指揮の仕方やポンポンの動き、楽器の演奏の仕方を熱心に教えています。

6年生代表の米倉美瑚さんから、「私たちが引き継いできた二小の伝統を受け継いでください。」と激励の言葉がありました。4・5年生を代表して、5年生の合津咲希さんが「下級生にかっこいいと思われるように頑張ります。」と力強く宣言しました。



米倉美瑚さん



合津咲希さん



下級生に教える6年生

二小こてき隊を引き継ぐこと 5年2組 合津 咲希

私は、こてきの引き継ぎで、4・5年生代表としてあいさつしました。これからの目標や意気込みを発表し、かっこいいこてき隊にしようと伝えました。先ばい方が大事に守ってきた伝統のこてき隊。今度は私たちが努力して、立派なこてき隊にし、6年生のみなさんが安心して卒業できるようにがんばります。

須二中の中学校生活を聞く

19日(金)に本校卒業生で生徒会長の須田日菜子(2年)さんと藤田亜煉君(1年)が来校し、6年生に中学校生活の学習や生活について分かりやすく説明してくれました。

中学生の話を聞いて 6年3組 橋本 楓

私は、話を聞いて卒業までできることをがんばろうと思いました。中学校の勉強は小学校の応用もあると聞いていたので、ちゃんとしっかり勉強しておきたいです。そして、ノートに先生などが言っていた言葉も書くといっていたので、そこはまねしてみたいと思いました。部活もいろいろあるし、新しい友達もできるので、がんばって慣れたいなと思いました。中学校は大変だけど充実した楽しい生活にしたいです。



なわとび記録会に向けてみんな頑張っています。激励の言葉を!

なわとび記録会が、2月6日(火)3・4年、7日(水)2・6年、8日(木)1・5年の3日間、本校の体育館で実施されます。子どもたちは記録会に向けて、一人一人はもちろん、学級対抗の団体戦である長縄跳びの練習に熱が入ってきました。

どうかご家庭でもお子さんの縄跳びの頑張りを認めていただき、激励の言葉をかけてください。そして、記録会当日は、お子さんの頑張る姿を是非応援していただきたいと思います。

6年1組 高橋 心優

私のなわとび記録会での決意は2つ。持久とびで5分間跳ぶこととクラス長なわ優勝。私は、みんなで優勝するために長なわ実行委員になった。5分間とびはまだまだ3分ぐらいしかとべていないのでがんばりたい。長なわは、226回が一番多い記録だ。でもそれでは3組に勝てない。5年生のときは、連続とびができない人が多かったけれど、今は全員ができるようになった。まだ、記録会まで時間がある。それまでにみんなで声と心を合わせ300回こえたい。



3年体育での縄跳びの練習